

第17回 総合防犯設備士資格認定試験問題

A問題解答例



公益社団法人 日本防犯設備協会

A 基礎問題（必須）

問題－1（セキュリティ概論1）

解答例

①	一部の部署でなく、全組織的体制で策定する。
②	組織が独自に培ってきた文化に無理のないように配慮する。
③	不履行や違反行為に対して強制力のある罰則をもたせる。
④	策定したポリシーに柔軟性をもたせる。
⑤	必ず組織の最高責任者名で公布する。
⑥	他のポリシーとの整合性を図る。
⑦	詳細にわたる膨大な文章でなく、簡単明瞭な記載にする。
⑧	常に最新化できるようにする。
⑨	完全でなくても短期的に策定し、継続的な向上努力をする。

問題－2（セキュリティ概論2）

解答例

①	社会的貧困あるいは不満の解消
②	政治的目的の達成
③	イデオロギー革命(イデオロギーの達成でも可)
④	宗教革命(宗教目的の達成でも可)
⑤	民族的主導権の取得あるいは独立の達成

A 基礎問題（必須）

問題－3（防犯の理論）

解答例

①	状況的犯罪防止理論
②	防犯環境設計
③	合理的選択理論
④	守りやすい空間
⑤	日常行動理論
⑥	割れ窓理論

A 基礎問題（必須）

問題－4（防犯対策の考え方）

解答例

	建物の部分	説明及び対策	
①	外周部	説明	第2警戒線に相当する領域
		対策	開口部や出入口部の物理的防御を中心に行い、侵入警報システムで強化する。
②	共用部	説明	施設、建物内であるが関係者以外も容易に入ってこられる領域
		対策	施設、建物内の状況に応じて防犯カメラシステムなどで監視する。
③	専用部	説明	関係者以外の入室を拒否する領域
		対策	出入管理システムなどで入室者を限定する
④	特定部	説明	特定の権限のある人以外の入室を拒否する領域
		対策	出入管理システムなどで入室者を限定する

A 基礎問題（必須）

問題－5（防犯設備の構築）

解答例

①	防犯設備の運用にあたって利用者に特段の不便を強要することはない。
②	侵入警報システムの警戒の開始/解除の操作で誤操作防止の対策が行われている。
③	重要な部屋は共連れ防止に配慮されている。
④	管理室での日常操作は、的確に、かつ効率的に行えるよう配慮されている。
⑤	停電時に対する対策ができています。
⑥	清掃やゴミ収集などの日常の作業に対する配慮がなされている。

A 基礎問題（必須）

問題－6（防犯設備の設計）

解答例

ネットワークカメラシステム	
長所	① 高画質（高解像度）化が可能
	② 広域化が可能（ネットワーク機器間の距離に考慮が必要）
	③ 遠距離集中「監視」が可能
	④ 機器増設が容易で自由度が高い
	⑤ 配線引き回しの数が減らせる
短所	① ネットワークの設計と管理が必要 ネットワークに流れるデータ量の把握など
	② 接続しただけでは画像が見られない
	③ パスワード設定等のセキュリティ対策で秘匿性を維持する必要がある
	④ トラブル時の原因が掴みにくい

A 基礎問題（必須）

問題－7（総合防犯監査1）

解答例

①	被監査組織の構成、各機関の機能
②	被監査組織の施設図面、施設周辺地域の地図など
③	防犯設備の仕様書、図面、マニュアル、運用・点検の記録など
④	被監査組織における防犯対策に関するポリシー、ガイドライン、手順書など
⑤	被監査人が所属する業界団体における指針・基準など
⑥	過去の監査記録と改善記録

A 基礎問題（必須）

問題－8（総合防犯監査2）

解答例

①	被監査組織との協力体制の確立
②	監査要領の策定
③	監査チェックリストの作成
④	監査の実施、監査結果の取りまとめ
⑤	監査報告書の作成
⑥	監査結果の報告、提言
⑦	監査結果への対応などに対するフォローアップ監査

A 基礎問題（必須）

問題－9（総合防犯1）

解答例

	主要刑法犯	代表的な犯罪名
①	凶悪犯	殺人、強盗、放火、強制的性交等(強姦)
②	粗暴犯	暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合罪
③	窃盗犯	窃盗
④	知能犯	詐欺、横領(占有離脱物横領を除く)、偽造、汚職、背任
⑤	風俗犯	賭博、わいせつ

問題－10（総合防犯2）

解答例

	提起されている事項
①	個人のプライバシー、肖像権
②	利用目的と保存画像の取り扱い
③	内容確認請求の方法
④	保存画像のセキュリティ